

# 花壇づくりワークショップ ニュースレター

Vol.02

H28年8月31日号



## フラワーフェスタに向けた ワークショップを開催しました

秋のフラワーフェスタ 2016 に向けて、ワークショップ（デザイン編）を行いました。本年度は秋・冬・春の花壇について、デザイン編と施工編のワークショップをそれぞれ 1 回ずつ行う構成となっています。

本日は昨年度のワークショップを振り返り、現地の花壇の状況を観察してから今年の花壇のデザインを行いました。昨年は何もなかったところから花壇を作成する、0 を 1 にする作業でしたが、今年は現状の花壇を活かしながらのデザインする、1 を 2 にする「更新」をメインとした作業です。また現地講習も行うので、実践的なワークショップとなっています。

花サポーター花壇だけでなく、ご自宅や地域活動でもデザイン力が発揮できるよう、花修景の基礎力を高めましょう！

日時：平成 28 年 8 月 31 日（水）

13:30～15:30

場所：馬見丘陵公園ボランティアハウス

参加者：28 人

### ◆ 当日のスケジュール ◆

13:15 受付

13:30 全体説明、昨年度の振り返り

13:50 現地講習

14:20 休憩

14:30 デザイン講習

15:20 アンケート、次回予告

15:30 終了



## 現地講習：今日の花壇

今年の花壇をデザインする上で、樹木類や宿根草など、今の花壇の中にある植物をいくつか残して使います。それらを中心に、中島講師から植物の手入れについてお話がありました。（裏面：花壇の手入れのコツ）

摘心、わき芽<sup>※1</sup>、先祖返り<sup>※2</sup>などのキーワードや、植物同士の高さのバランス、観察のポイントなど、実際の状態を見ながらデザインのヒントとなる事柄が沢山ありました。

※1 わき芽：葉や茎の付け根から出る芽（枝）のこと

※2 先祖返り：品種改良によってできた模様（斑入り）が原種（斑なし）に近い物に戻ってしまうこと



## 花壇のデザインをしよう！

今回の花壇は、現況花壇から 50 cm 前方に幅を広げた、幅 1.7m×長さ 17.0m の大きさです。昨年植えた植物を残して使う上に、花壇の中にもコンテナを配置してデザインを行うので、昨年より少し難易度の高いデザインとなっています。

講習の中では 3.0m ずつに区切って、1/10 の縮尺のデザインシートを用いて各自デザインを行いました。使用する花の色の組み合わせだけでなく、高さのバランス、質感（テクスチャー）の組み合わせなど、考えなければいけないことが沢山あるので大変でしたが、皆さん時間内にデザインをまとめていただきました。





## 花修景に関するQ&A（8/31 講義アンケートの回答）

### Q. 肥料を土に混ぜると、土の上に撒くのと、何が違うの？

肥料は大きく分けて有機肥料、化学肥料に分かれます。基本的に有機肥料は、土の中の微生物により分解され効果が表れ、化学肥料は、水に溶けて効果が表れます。有機肥料は土の上に撒く事も可能ですが、本来の効果は少し弱まります。しかし、マルチングとして除草効果や保温、美化(見た目)の効果が有り、最終的には有機物なので土に還ります。化学肥料の細かい粒剤の場合は、土に混ぜた方が良いでしょう。

また、肥料の深さは植える植物により異なります。ポット一つ単位で考えますと、入っている土の2倍の体積分を耕し、そこに肥料を混ぜれば良いでしょう。基本的にはどんな植物でも、肥料が直接根に当たらないようにします。

#### ①混ぜ込む肥料（元肥）

植物を花壇や鉢に植える場合に、植える土にあらかじめ肥料を混ぜ込む方法です。土に肥料を混ぜられるタイミングは、植付と植替えの時だけなので、長期間効果が持続する緩効性肥料か、有機質ベースの遅効性肥料を使用します。

#### ②かける肥料

水に薄めたり、またそのまま水をやるように肥料を土にかける方法です。追肥としてやる場合が多く、水やり代わりにやるので手軽です。水やり代わりにやったりするので、肥料の成分が流れ出やすいという欠点があります。

#### ③置く肥料（置肥）

土表面に置く方法で、追肥として利用します。この方法は固形でだんだんと溶けていって、最終的には肥料がなくなります。溶けきると肥料が切れたということなので視覚的に分かりやすいです。鉢花、観葉植物などの鉢物によく利用される方法です。

#### ④埋める肥料

土の表面に埋め込む方法です。置肥と異なり、全体から肥料の成分が土に溶け出すので、油かすなどの固形肥料などは表面におくだけでは発酵してたくさんかびが生えて虫が寄ってくるので、それを防止するために表面に埋めます。

### Q. 花壇をデザインする際に、花の育ち方は考慮すべき？

植物を選ぶときは、自分の好きな植物を選ぶのが大前提ですが、以下のようなポイントを考えます。

①性質：丈夫さ、環境への適合性、観賞期間、流通、管理のしやすさ など

②見た目：色・形・テクスチャー、花・葉・実、四季の変化、成長の変化 など

③その他：利用法や楽しみ方、「らしさ」の表現、珍しさ、安全性 など

これらすべてを考え出すとキリがないので、「植えたい植物をきれいに見せるにはどうすればよいか」を第一に考えると良いでしょう。ここでは参考に、植物の育ち方をタイプ別に紹介します。植物がどんな成長するか、観察日記をつけてみるのもお勧めです。

#### ①横に広がる植物



リシマキア・リッシー

アリッサム、アジュガ、這性ペチュニア、グレゴマ、ユキノシタ、ラミウム など

#### ②こんもり茂る植物



ギボウシ

アサギリソウ、ヒューケラ、イソギク、アスチルベ、パンジー・ビオラ など

#### ③縦ラインを魅せる植物



タチアオイ

サルビア、シラン、ミソハギ、ジギタリス、キンギョソウ、ケイトウ など

#### ④一茎一花が目立つ植物



ガーベラ

キキョウ、シャクヤク、ジャーマンアイリス、エキナセア、ガパンサス など

#### ⑤後ろが透けて見える植物



カスミソウ

西洋オダマキ、ガウラ、シュウメイギク、ルドベキア、オミナエシ など

#### ⑥葉や穂の曲線を魅せる植物



カレックス・ジエネキ

ペニセタム、ヤブラン、ステイパ、ナス、タチューム、フウチソウ など

## Q. 花の色の組み合わせってどうやって考えるの？

複数の色を組み合わせるとき、色相環に基づいた配色のルールがあります。植える花に迷った時にこれらの法則を考えてみてください。パステルカラーを中心としてポイントに濃い色の植物を使用すると、花壇全体にメリハリをつけやすいです。

### ① 色の濃淡の組み合わせ（例：白、ピンク、赤）

色のつながりが自然で失敗が少なく、比較的簡単な組み合わせです。

### ② 色相環で隣り合った2～3色の組み合わせ（例：赤、オレンジ、黄）

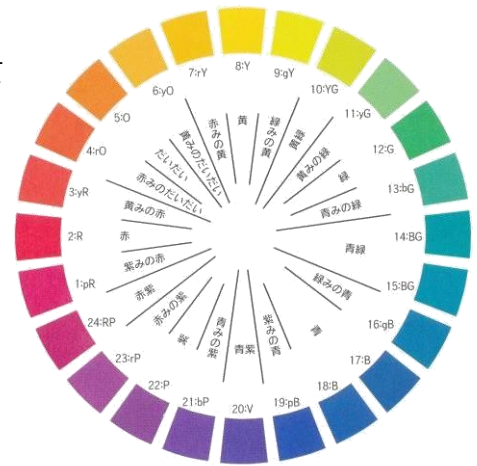
主に赤系で暖かいイメージ、青系で涼しげなイメージが作れます。

### ③ 色相環で反対の位置にある2色（補色）の組み合わせ（例：紫、黄）

お互いの色を強調しあう、コントラストの強い個性的な色合わせです。やや難しい組み合わせですが、色の配分量にメリハリをつけたり、同じ色の花を固めて配置するとまとまりやすいです。

### ④ 色相環で三角形を作る位置3色の組み合わせ（例：赤、青、黄）

性格の違う3色を配置するので、難しくまとりにくい色合いです。3色を均等に使わず、いずれか1色は少量でスパイスのように利かせるとバランスがよくなります。3色を均等に使用したい場合は、色調の明るいピンク+水色+薄黄色などにとまとまりやすいです。



▲マンセル色相環

(カラーコーディネーター入門 色彩)



▲①の配植例



▲②の配植例



▲③の配植例



▲④の配植例

## Q. 球根類の花期が終わったらどうすればいいの？

球根類は、芽を出させ、花を咲かせるまでに球根の中のエネルギーを使いきって、花を咲かせたあとは、げっそり痩せた状態になっています。それでも、花を咲かせた後に葉と茎を使って光合成をし、そこで得たエネルギーを再び球根の中に蓄えることで、次の年も同じように花を咲かせることができます。

### 例) カサランカの花期後の管理

カサランカは、オランダで作られた品種です。6月～8月の開花し、豪華な花と香りを楽しめます。

①カサランカを翌年もきれいに咲かせるためには、花は切落とし、球根を育てます。せっかく咲いている花を楽しみたくて切るのが心苦しいかもしれませんが、カサランカは切り花にしても長く楽しめます。

②花は付け根から摘み取ってしまいます。めしべの下のふくらみを、完全に取り去ることがポイントです。放置しているとその部分に種子を作ろうとして養分を溜め込むため球根が肥大しにくくなってしまいます。



▲カサランカ

③花を摘み取ったら、お礼肥を施し、鉢植えの場合は水やりも継続し、葉が自然に枯れていくまで、しっかりと管理します。

④10～11月が植え替え適期です。茎や葉が十分枯れてから、球根を傷つけないよう、ていねいに掘り上げます。ユリの球根は外皮がなく、乾燥すると干からびたようになるため、球根を長い時間、乾燥させたり、日光にさらさないようにします。

⑤球根を規定量のオーソサイド液などに数十分間浸し殺菌します。殺菌したカサランカの球根は、すぐに植え付けます。球根の下根はそのままにして、根を広げるようにして植え付けます。植え付け後は、風通しと日当りの良い場所に置き、午前中は日光を当てると、茎が丈夫になります。ただし、真夏の直射日光は強すぎるため、明るめの日陰に移動しましょう。



# 花壇の手入れのコツ ～花サポーター花壇のメンテナンス～

現地講座で行った花壇の手入れについて、ご家庭でガーデニングされる際などに役立ててください。

## ①摘心の方法

摘心とは、苗の最先端（芽）の部分の葉などを摘み取り、わき芽（側枝）を発生させて開花させることを言います。これを行うことにより、植物によっては二番花、三番花を楽しむことができ、わき芽が沢山出ることで、苗全体をこんもりと茂らせることができます。

摘心の位置は、茎の出来るだけ葉に近い部分です。切ったあと、ほとんど茎が残らないようにします。切ったところから新たにわき芽が出てきます。摘心の適期は育てる植物によって異なりますが、主に発育のよい生育期に行います。



▲摘心の位置



▲摘心後の状態

### Point!

- 摘心した方がいい植物 キク、マーガレット、サルビア、マリーゴールド、ハーブゼラニウムなど
- 摘心に不向きな植物 デルフィニウム、ジギタリス、ルピナスなど ※一茎一花の仕立て方をしたい場合は摘心しない。

## ②枯れた植物の見分け方

右の写真はヒペリカムという樹木ですが、左半分が枯れてしまっています。植物が枯れる原因は様々ですが、この時期特に多いのが水切れです。見た目では枯れているように見えてもまだ生きている場合があるので、実際に触って確かめましょう。

生きている枝は、ゆっくり曲げると弾力があってしなります。枝を鋏で切ってみると、中に水分があるのが確認できます。枯れてしまった枝は、曲げるとポキッと折れてしまいます。枝を切ってみると水分が無く、断面がスカスカになっています。

草花の場合の見分け方は、葉の色が変色している場合は、水切れのほかには葉やけ、日照不足、肥料のやり過ぎなどが考えられます。根腐れの場合は葉の変色のほかに、株の元気がない、水やり後の土の乾燥が遅い、土から腐敗臭がする、根が黒色に変化している（根を確認できる場合）などがあります。

宿根草で夏・冬の休眠期に地表部の葉を枯らすものもあるので、すぐに抜いてしまわずに、その植物の特性をよく調べてから判断しましょう。



▲水切れで枯れてしまったヒペリカム



▲しなる枝



▲折れる枝

### Point!

右の写真はニューサイランという、ピンと立った細長い葉を鑑賞する植物です。葉先が枯れた場合は、葉全部を切ってしまうのもったいないので、葉の形状に似せて枯れた部分だけを斜めに切りとり、切口が目立たないようにします。葉全体が枯れた場合は、地際から切ります。



▲葉先だけが枯れたニューサイランの手入れ ▲地際から切る場合